



大震災発生時の初動マニュアル(2016.12.8版)

公益社団法人 中央区医師会

大震災発生で電話やネットが途絶した際は、原則として、

1. 医療救護活動を自院で行うか、最寄りの救護所(小中学校)へ出動して行くか、は会員各位が自分で判断する。
2. 最寄りの小中学校(防災拠点)の防災無線を活用して、本会の医療情報拠点(京橋プラザ・月島区民センター)と連絡を取る。医療情報拠点では、地域的情報を集約し、医療救護活動を統括する。
3. 会長(代表理事)へ医療情報拠点経由で情報を集約し、迅速的確な指揮系統の確立に努める。
 - a. 災害救急部担当理事と副担当理事は、夫々医療情報拠点へ直ちに出務する。
 - b. 各部理事・防災拠点運営委員会委員及び学校医は可能な限り上記に協力する。

* 参照： 図1. 大震災発生時の情報伝達の流れ(概略)
表1. 防災拠点運営委員会委員及び学校医

図1. 大震災発生時の本会の情報伝達の流れ(概略)

○情報通信機器が使用できる場合
(メール・電話・FAX)

●情報通信機器が使用できない場合
(防災無線・伝令)

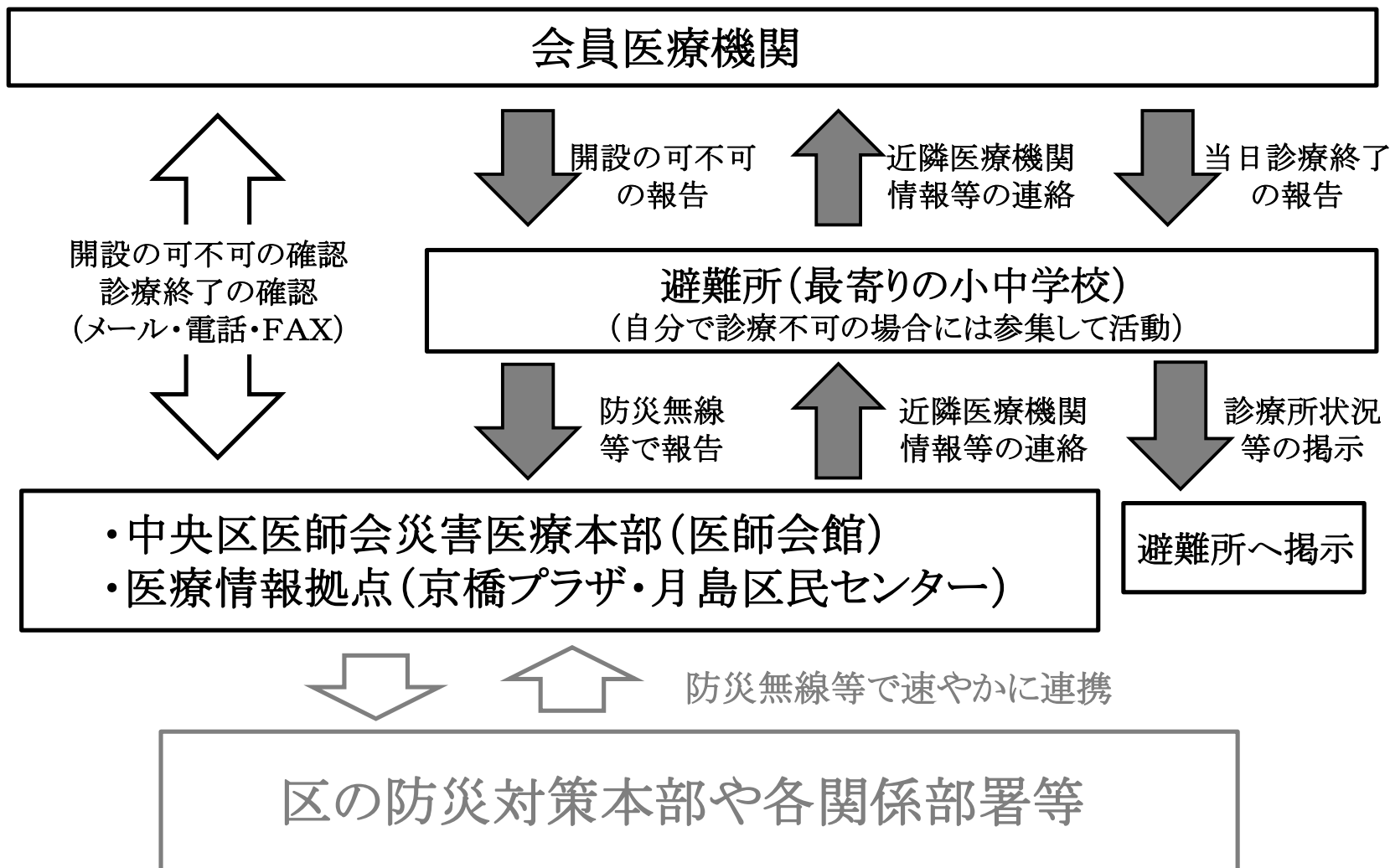


表1. 防災拠点運営委員会委員及び学校医

防災拠点	委員	内科医	耳鼻科医	眼科医
城東小	宮下公男	松本章一	岩佐英之	宮下公男
泰明小	林俊行	林 俊行	大場俊彦	中泉行弘
銀座中	宮崎賢澄	宮崎賢澄	岡添龍介	森 達彦
中央小	里井豊	里井 豊	岩佐英之	葉田野雅夫
明石小	矢田雄滋	矢田雄滋	大場俊彦	小林千博
京橋築地小	清水尚志	前田立雄	岡添龍介	中込 豊
明正小	齋藤真理	齋藤真理	矢部利江	中込 豊
佃島小・佃中	葛岡真彦	鈴木浩一・葛岡真彦	苦瓜知彦・橘敏郎	葉田野雅夫・原弘子
月島第一小	竹淵一宏	竹淵一宏	大築淳一	今村祐子
月島第二小	遠藤文夫	遠藤文夫	矢部利江	佐久間敦之
月島第三小・晴海中	杉野敬一	新井豊彦・杉野敬一	大築淳一	今村祐子・丸毛美千子
豊海小	矢野芳和	矢野芳和	橘 敏郎	小平奈利
京華スクエア	齋藤隆夫	(-)	(-)	(-)
京橋プラザ (京橋医療防災拠点)	安藤 潔・吉川剛司	(-)	(-)	(-)
月島区民センター (月島医療防災拠点)	遠藤文夫	(-)	(-)	(-)